



燃やせるごみ

チェックポイント

- 生ごみは水切りを十分にしてください。
- 紙袋、紙箱、牛乳パックは資源ごみで出してください。

袋の重さは
10kgまで

朝8時までに
所定の場所に

主な燃やせるごみ

➡ 詳しくは20ページ以降の一覧をご覧ください。



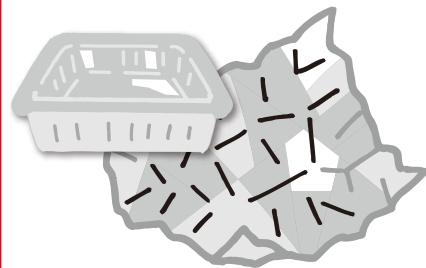
生ごみ

水切りを十分にしてください



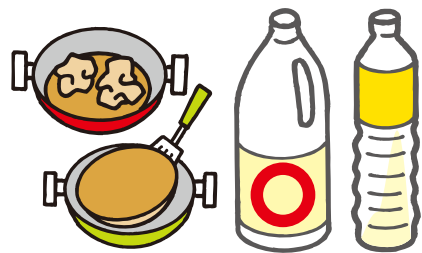
貝殻

(しじみ・かき・さざえ・あさり等)

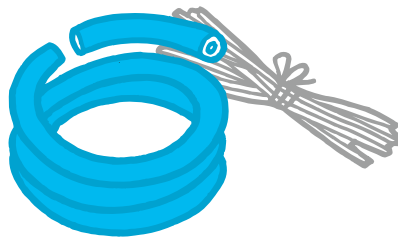


銀紙・

アルミホイル(箔)食品用



食用油・食用油のペットボトル容器
布・紙に含ませるか固形化してください

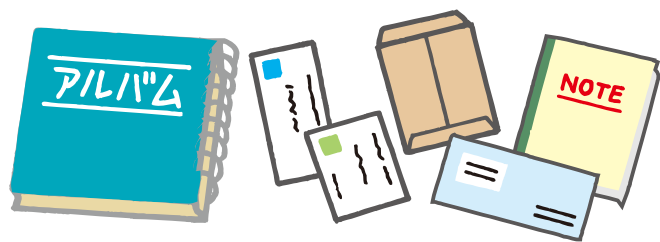


ホース・ロープ・ひも類

50cm以下に切って出してください



紙おむつ・布おむつ・衛生用品
汚物を取り除いてください

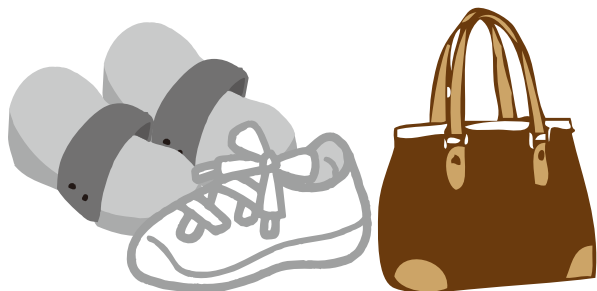


アルバム・写真・手紙・使用済みの画用紙やノート・
ダイレクトメール類などリサイクルできない紙類



少量の木の枝・木片

(幹の太さは20cm以内にしてください)



くつ・かばん・ベルト・革製品
※金具はついたままでよい



ゴム製品・ゴム手袋・長靴・水まくら

主な燃やせるごみ

➡ 詳しくは20ページ以降の一覧をご覧ください。



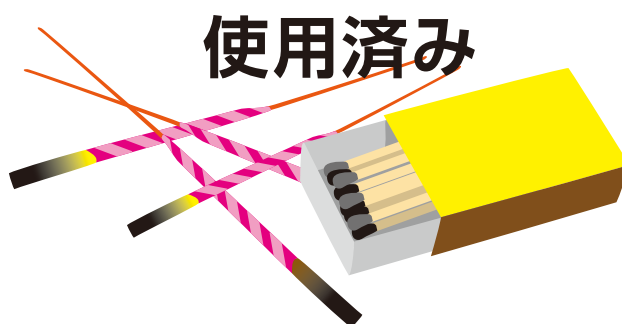
リサイクルできない古着・カーテンなどの布類・
毛糸の玉・ぬいぐるみなどの繊維くず



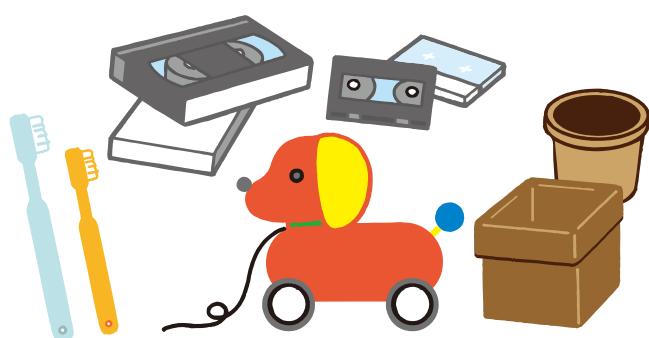
かっぱ・ジャンパーなどナイロンの衣料
※金具はついたままでよい



チューブ類・汚れの落ちないプラスチック製容器包装ごみ



使用済み花火・使用済みマッチ
使い切って水に湿らせてください



プラスチック製品(指定袋に入るもの)
※大きな金具類は取り除いて、燃やせないごみに出してください



その他の燃やせるごみ
保冷剤・使い捨てカイロ・CD・DVDなど

生ごみ

水切りを十分をお願いします。

生ごみの約80%は水分。腐敗や悪臭の主な原因は、生ごみに含まれる水分です。水分を減らすための工夫をすることでごみの減量や、焼却時の発電にも効果があります。

～水切り 3 つの工夫～

① 濡らさない

野菜は洗う前に皮むきをすると、水分を吸うことがない。



② しぼる

生ごみの入った小袋を捨てる時には、袋の端に穴を開けて、軽く水をしぼってから、ごみ袋に入れる。



③ 乾かす

お茶がらやティーバッグは、水気をしぼり、乾かしてから出す。

